

フランスの装飾音をマスターしよう①

ジャック＝マルタン・オットテールの装飾音

17世紀から18世紀までのフランス音楽において、装飾音は魅力的な要素の一つです。音楽をときには華やかに、ときにはしなやかに彩っていくために、装飾音を勉強することは必要不可欠でしょう。しかし、作曲家ごとに記号が違っていたり、中には説明が不十分でわかりにくいものもあって、何となくこの種類の音楽を敬遠されている方もいらっしゃるかもしれません。この講座では苦手な方は好きになれるように、既に詳しく勉強している方は実践とより深く結びつけられるように、フランスの装飾音について見ていきます。

また、フランス音楽の装飾音は、フランスのみならずヨーロッパ中でモデルにされ、有名なヨハン・セバスティアン・バッハを始め、後の時代の音楽を演奏する際にも有用です。

第1回目は、管楽器奏者であり楽器製作家でもあった、ジャック＝マルタン・オットテール(1673-1763)の著書を取り上げます。主に「フルート、リコーダー、オーボエの原理」(1701年)、「フルート、または他の楽器と通奏低音のための作品集(Op.2)」(1708年)に記載されている装飾音の演奏法を学び、どのように装飾音を使えば良いかを見ていく講座です。

オットテールの教則本や作品には、装飾音の種類や、どこに付けるか、どのくらい付けるか詳しく説明されているため、オットテールの作品だけでなく、この時代のフランス音楽を演奏する際の大きな助けとなるでしょう。

日時:全3回(各回およそ45分)

パート1:2021年5月29日(土)配信開始

パート2:2021年6月19日(土)配信開始

パート3:2021年7月10日(土)配信開始 全回2021年7月31日(土)まで視聴可能です。

- ・ 配布資料(PDF)あり…郵送は致しません。お手数おかけしますが、必要な方はご自身でプリントアウトをお願い致します。
- ・ 第1回目の配信開始から視聴期間終了日の7月31日までメールやフォームからのご質問、ご意見、ご感想を受け付けております。

【お申込み】



1. お申込みフォーム(左記QRコードより)
または <https://forms.gle/rPBTgXqxRk6iXxZB6>
2. メール ensemble.5te.s@gmail.com

内容や料金の詳細については裏面をご覧ください。

各回の主な内容:

パート1 (2021年5月29日~)

ジャック＝マルタン・オットテールの紹介、原典資料や邦訳に関する情報、装飾音の概要

パート2 (2021年6月19日~)

それぞれの装飾音についての説明、解説、実例の紹介

パート3 (2021年7月10日~)

オットテールの装飾音の他作品への応用について

料金:

【一般の方】

各回個別でのご購入の場合…1パート 2000円

全3回まとめてご購入の場合…5000円

【学生の方 (30歳以下)】

各回個別でご購入の場合…1パート 1000円

全3回まとめてご購入の場合…2500円

講師: 中島 恵美 (なかじま えみ) リコーダー / フラウト・トラヴェルソ奏者

東京都出身。15歳よりリコーダーの手ほどきをうけ、高校在学中、東京リコーダーコンテスト及び全日本リコーダーコンテスト高校生独奏の部で金賞・銀賞を受賞。東京芸術大学音楽学部器楽科リコーダー専攻卒業、2014年度同大学より「安宅賞」受賞。在学中からソロに限らず「アントネッロ・リコーダーコンソート」や「ラルベルティーナ」等のアンサンブルでも活動する。2015年よりフランスへ渡り、リヨン地方音楽院を経て、2018年リヨン国立高等音楽院古楽科にて演奏家ディプロマ DNSPM を取得。同年には自身初のリサイタルを東京・近江楽堂で催した。2019年にデュオ「イ・フィラトリー・ディ・ムジカ」のメンバーとしてパリ音楽コンクールで銀賞を受賞。2020年に同音楽院を修了、17世紀のリコーダーの発展について研究した。同年に仏・メセナ・ムジカル・ソシエテ・ジェネラルの奨学金を受賞。

これまでにリコーダーを細岡ゆき、山岡重治、濱田芳通、スージー・モールマイヤー、ピエール・アモンの各氏に師事した他、国内外でマスタークラス及びレッスンを受講。フラウト・トラヴェルソを前田りり子、アメリ・ミシエルの各氏に師事。中世音楽理論及び即興をラファエル・ピカゾ氏、ルネサンス・バロック音楽理論及び即興をバルナベ・ジャンン氏、歌唱法をアンヌ・ドゥラフォース氏と共に学ぶ。馬橋市民センターリコーダーアンサンブル講師、お茶の水・アイゼナハ音楽院講師。

ホームページ:www.i-filatori-di-musica.com/